

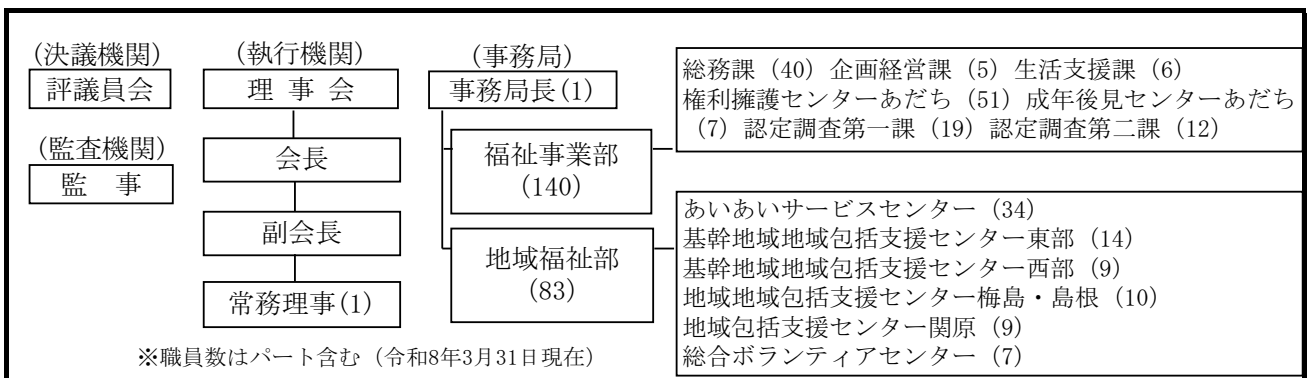
令和7年度 足立区社会福祉協議会 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和8年5月20日現在

名 称	社会福祉法人 足立区社会福祉協議会
所 在 地	足立区中央本町1-17-1
設立年月日 法人認可日	昭和30年3月19日 昭和40年6月30日
代 表 者	会長 小久保 隆
職員数（実員）	常勤80名（派遣2名 固有78名） 再任用3名 非常勤等141名 合計224名
基本財産	450万円

2 組織機構図



3 令和7年度経営方針と重点事項

【経営方針】

足立区における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の増進を図る。

- 1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 2 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整・助成
- 4 その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

【重点事項】

地域福祉社会の全般的な発達を目指しつつ、特に以下の事項に重点的に取り組んだ。

1 重層的支援体制整備への取り組み

世代や属性を超えて交流できる機会や居場所づくりのため、地域福祉コーディネーターが積極的に地域に出向き、潜在的な福祉ニーズの把握や情報収集、課題解決に向けて話し合う場の創出、分野を横断した参加の機会の創出に取り組んだ。

【主な実績】

担い手になり得る主体の発掘など	204組
相談事案数	62件
担い手につないだ相談事案数	57件
終結に至った相談事案数	53件

2 芸術連携による社会参加支援への取り組み

福祉サービス利用者等の社会参加の機会を創出するため、特定非営利活動法人音まち計画との共催で様々な地域団体等とともに文化芸術活動を通じた地域福祉活動の促進に取り組んだ。

【主な実績】

「拝啓 花畑のみなさま！ ジェルフラワーPROJECT」実施（於花畑あかしあ園）
参加者約70名

3 単身高齢者支援への取り組み

頼れる家族や親族がいない方の『身寄り問題』が社会的に地域課題となる中、これまでの展開してきた入院時等の保証機能を果たす高齢者あんしん生活支援事業の実施とともにそのノウハウを活用して新たに死後事務支援に特化したおひとりさま死後事務支援事業を令和7年度より開始した。

【主な実績】

(1) 高齢者あんしん生活支援事業（継続）

新規相談件数	223件（前年度比+69件）
年度末契約者数	88件（前年度比+21件）

(2) おひとりさま死後事務支援事業（新規）

新規相談件数	107件
年度末現在契約数	4件

※契約準備中に高齢者あんしん生活支援事業の利用に意向が変わったケースが多く見られた

4 社会福祉法人と連携した車いすステーションの拡充

社協や区役所窓口でのみ実施していた「車いす貸出事業」を再編し、福祉用具事業者や社会福祉法人の協力機関を「車いすステーション」と位置づけることで、地域密着型の支援ネットワークを整備した。

【主な実績】

拠点数	16か所（令和6年度末）→28か所（令和7年度末）
貸出数	1,937件（前年度比+237件）

5 災害対策への取り組み

大規模地震、集中豪雨等による水害等、災害発生時におけるボランティア活動を支援するための整備を進めた。

【主な実績】

災害ボランティア登録者数	489名（前年度比+31名）
災害ボランティアセンター設置運営訓練	1回（9月）
災害ボランティアセンターネットワーク会議	2回（7月・12月）

4 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

1 重層的支援体制整備への取り組み

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		0	2,991,913	2,991,913
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	C SWのコーディネートにより支え手につないだ相談 事案数	0 件	62 件	62 件
	決算額（単位：円）	0	2,902,813	2,902,813
	【内容】 (ア) 世代・分野を超えた交流・連携の促進および担い手の育成 ①支え手となりうる主体の発掘等204組 ②相談事案 62件 ③担い手につないだ相談 57件 ④終結に至った相談 53件 ⑤事業説明会1回（参加者 157名） ⑥事業報告会1回（参加者 59名）			
イ	資源創出のためのワークショップの開催	0 回	2 回	2 回
	決算額（単位：円）	0	89,100	89,100
	【内容】 (ア) 社会資源の開拓とつなぎ支援 ①資源創出のためのワークショップの開催 2回 ワークショップ1 「イマジン！千住桜花苑施設見学会」 参加者 18名 ワークショップ2 「拝啓 花畑のみなさまジェルフラワーPROJECT」 参加者 50名			

※2以下の取り組みに合わせ上記、決算額は人件費を含まず

2 芸福連携による社会参加支援への取り組み

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		0	129,473	129,473
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	資源開発の推進と機会づくり	0 名	149 名	149 名
	決算額（単位：円）	0	129,473	129,473
	【内容】 特定非営利活動法人音まち計画との共催で、地域共生社会づくりに向けて「芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト」を実施した。 「芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト」では、文化・芸術との連携により、福祉サービス利用者等の社会参加機会の拡充に取り組んでいる。 (ア) 芸福連携の実践基盤構築に向けたアートプロジェクト ①情報交換会・学習会 3回 参加者計 149人 公開講座・学習会の参加者を対象に芸術と福祉の連携のための情報共有の機会をつくった。 ②ワークショップ実施回数 1回 参加者 50名 花畑あかしあ園で、利用者や若者などと「花畑ジェルフラワーPROJECT」を実施した。 若者・ひきこもり支援機関から「利用者が好きなことを伸ばす機会がほしい」という相談を受けて、花畑あかしあ園と相談し、木工用ボンドを使用したワークショップを開催した。支援機関の利用者（若者等）は、プレ企画での制作参加や、当日のボランティアとして活躍した。終了後のお披露目をうけて現在、プログラムは近隣施設に広がってきている。			

4 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

3 単身高齢者支援への取り組み

決算額（単位：円）		令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	増減 (B-A)
		51, 925, 097	85, 632, 312	33, 707, 215
主な内容		令和 6 年度 実績 (C)	令和 7 年度 実績 (D)	増減 (D-C)
ア	高齢者あんしん生活支援事業	67 件	88 件	21 件
	決算額（単位:円）	51, 925, 097	85, 449, 309	33, 524, 212
	【内容】 高齢者安心生活支援事業の実施により区内に身寄りのないひとり暮らし高齢者と事前に契約し、入院(入所)時などの保証機能や支援を行うとともに、判断能力の低下や死後の準備など将来直面し得るリスクの予防に努めた。			
	(ア) 新規相談件数 223件(前年度比69件増) 契約準備等対応延件数 1,560件 (イ) 年度末契約件数 88件(前年度比21件増) ①新規契約件数 34件 ②解約件数 13件 (ウ) 契約者対応延件数 2,990件 (エ) 出前講座16回(おいじたく講座・おひとりさま死後事務支援紹介も含む) 参加者数延べ 402名 (オ) 視察・取材対応 8件(おひとりさま死後事務支援紹介も含む) (カ) 利用者交流会 1回 参加者 17名			
イ	おひとりさま死後事務支援事業	0 件	4 件	4 件
	決算額（単位:円）	0	183, 003	183, 003
	【内容】 おひとりさま死後事務支援事業の実施により区内に居住する単身で身寄りのない40歳以上の方に対し、民間の少額短期保険を活用して、本人が希望する死後事務支援を行った。			
	(ア) 新規相談件数 107件 契約準備等対応延件数 197件 (イ) 年度末契約件数 4件 新規契約件数 4件 解約件数 0件 (ウ) 契約者対応延件数 22件 (エ) 取材・視察対応 1件 (オ) 地域包括支援センター等が主催する勉強会等での事業周知 13件 358名			

2 事業の主だった件数比較表

	高齢者あんしん生活 支援事業（継続）	おひとりさま死後事務 支援事業（新規）
新規相談件数	223件（前年度比69件増）	107件
契約準備対応延件数	1,560件	197件
年度末契約件数	88件（前年度比21件増）	4件
①新規契約件数	34件	4件
②解約件数	13件	0件
契約者対応延件数	2,990件	22件

4 社会福祉法人連絡会と連携した車いすステーションの拡充

決算額（単位：円）		令和 6 年度 (A)	令和 7 年度 (B)	増減 (B-A)
		1, 301, 131	1, 831, 718	530, 587
主な内容		令和 6 年度 実績 (C)	令和 7 年度 実績 (D)	増減 (D-C)
ア	車いすステーション拠点数	16 か所	28 か所	12 か所
	決算額（単位:円）	341, 295	484, 226	142, 931
	【内容】 令和 5 年度まで区内10か所であった拠点を、令和 6 年度には福祉用具事業者、令和 7 年度には社会福祉法人と連携することで、区内のステーション数を28か所へと大幅に拡大した。 (ア) 車いすステーション拠点数28か所 ①社会福祉協議会拠点・区役所窓口 12か所 ②福祉用具事業者 4か所 ③社会福祉法人 12か所 (イ) 貸出件数 ①社会福祉協議会拠点・区役所窓口 1, 937件(内訳は車いす貸出事業実績参照) ②福祉用具事業者 71件 (内訳) (有)福祉の家 13件 (株)あおばライフケア 13件 ダスキンヘルスレント足立ステーション 27件 まごの手本店 18件 ※ 社会福祉法人の貸出件数は、社会福祉協議会では集約していない。			
イ	車いす貸し出し実績	1, 700 台	1, 937 台	237 台
	決算額（単位:円）	959, 836	1, 347, 492	387, 656
	【内容】 寄贈された車いすを、けがや病気、ボランティア活動等で一時的に必要とする区民に対し、社会福祉協議会拠点や区役所の各窓口にて無償で貸し出す。 (ア) 保有台数 155台 (イ) 廃棄台数 20台 (ウ) 車いすの寄贈 29台（寄贈された車いすは相当の金額に換算して会計処理） (エ) 貸出件数 1, 937件(前年度比237件増) ①事務局 641件 ②総合ボランティアセンター 245件 ③地域包括支援センター関原 190件 ④認定調査課 8件(令和8年3月より開設) ⑤あいあいサービスセンター 29件 ⑥成年後見センターあだち18件(令和7年8月より開設) ⑦中部第一福祉課 9件 ⑧中部第二福祉課 14件 ⑨千住福祉課 127件 ⑩東部福祉課 205件 ⑪西部福祉課 252件 ⑫北部福祉課 165件 ⑬江南区民事務所 34件 (オ) 車いすの年間メンテナンスを 6 月と12月に実施済 (カ) 事業 P R を広報誌トキメキに掲載 2 回。Facebookにも積極的に掲載した。 (キ) ありがとうメッセージを募集し、利用者からの感謝を寄附者向けに発信した。			

4 令和7年度の主な公益目的事業等詳細内容

5 災害対策への取り組み

決算額（単位：円）		令和6年度 (A)	令和7年度 (B)	増減(B-A)
		861,876	975,738	113,862
主な内容		令和6年度 実績(C)	令和7年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	災害ボランティアセンター運営支援にかかる基盤整備	458 名	489 名	31 名
	決算額（単位：円）	809,876	876,938	67,062
	【内容】			
	(ア) 災害ボランティア登録制度の推進 ①災害ボランティア登録者数 489名（令和8年3月31日現在） ②災害ボランティア登録者向けメールマガジンの配信 17回 (イ) 災害ボランティアセンターネットワーク会議の運営支援 平時からNPOや市民活動団体等と関係を構築し、足立区災害ボランティアセンターを設置・運営するためのネットワーク会議及び設置運営訓練を実施した。 ①災害ボランティアセンターネットワーク会議 2回（7月・12月） ②災害ボランティアセンター設置運営訓練（9月） (ウ) 災害ボランティア活動に係る費用の助成 足立区外で災害ボランティアセンターもしくは復興支援センター等が開設されている被災地へ赴き、被災者を支援するためのボランティア活動等に参加した個人に対し、活動に要した交通費や宿泊費等の一部を助成した。 ①内容 被災地往復に要した交通費（ガソリン代含む）、被災地で2日以上活動した際の宿泊費 ②金額 5,000円（月上限）、20,000円（年上限） ③実績 4件（前年度比20件減） ④派遣先 2県2市町村 令和7年6月 能登半島地震（七尾市） 1件 令和8年1月～3月 豪雨災害（八丈島） 3件			
イ	災害ボランティア登録者の養成と活動機会の創出	100 名	103 名	3 名
	決算額（単位：円）	52,000	98,800	46,800
	【内容】			
	(ア) 災害ボランティア養成基礎研修会の実施 4回 75名参加（前年度比3名増） ①能登半島地震・豪雨災害における取り組み及び被災地の現状について ②災害ボランティア研修【入門編】災害ボランティアについて学ぼう ③模擬訓練を通して学ぶ。災害ボランティアセンターの役割とは【座学編】 ④模擬訓練を通して学ぶ。災害ボランティアセンターの役割とは【体験編】 (イ) 災害ボランティアスキルアップ研修 2回 28名参加（前年度比15名増） ①災害VC設置訓練に向けたキントーンシステム操作説明会 ②模擬訓練を通して学ぶ。災害ボランティアセンターの役割とは【体験編】の災害ボランティアセンター運営者として従事			
ウ	社協職員の災害支援力の向上	72 名	70 名	△ 2 名
	決算額（単位：円）	0	0	0
	【内容】			
	(ア) 職員災害対策チーム会議 4回開催 災害支援に対する情報共有や足立区災害ボランティアセンター運営マニュアルの更新、他自治体の取り組みの共有を行った。 (イ) 職員災害対策チームによるKintoneシステムを活用した災害ボランティアセンター模擬訓練の実施 (ウ) 常勤職員向け研修の実施 1回 70名参加（前年度比2名減）			

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益				
基本財産受取利息 <1>	0	0	0	
基本財産運用益計 <2>	0	0	0	
特定資産運用益				
特定資産受取利息 <3>	4,580,039	4,773,564	193,525	福祉ボランティア基金受取利息の債権
特定資産運用益計 <4>	4,580,039	4,773,564	193,525	満期買替による利息収入増
その他固定資産運用益				
その他固定資産受取利息 <5>	0	0	0	
その他固定資産運用益計 <6>	0	0	0	
会費収益				
会費収益 <7>	8,698,200	8,764,100	65,900	社協会員からの会費
会費収益計 <8>	8,698,200	8,764,100	65,900	
寄附金収益				
寄附金収益 <9>	7,136,629	8,243,705	1,107,076	ア 経常経費寄附金6,851,337円 高額寄附(1,000,000円2件)受領による増 寄附金全体的には減少している
寄附金収益計 <10>	7,136,629	8,243,705	1,107,076	
受取補助金等収益				
受取区補助金 <11>	664,747,650	717,657,655	52,910,005	人件費に対する足立区からの補助金 ア 人件費補助金669,260,759円 給与改定により33,454,898円増 イ 運営費補助金32,927,543円 事務所移転(2拠点)により19,643,700円増
雇用支援機構補助金 <12>	14,268,000	5,768,500	△ 8,499,500	高齢・障害・求職者雇用支援機構から の補助金 ア 障がい者雇用関係補助金5,768,500円 作業員の就労時間減により8,499,500円減
共同募金配分金 <13>	11,287,308	12,310,661	1,023,353	東京都共同募金会からの令和6年度募金 実績による令和7年度地域福祉活動費 ア 歳末たすけあい配分金9,034,262円 募金額増により1,069,543円増

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

受取助成金	〈14〉	0	0	0	
受取補助金等収益計	〈15〉	690,302,958	735,736,816	45,433,858	
受託金収益					
東京都補助金収益	〈16〉	540,000	220,000	△ 320,000	ア 同行援護事業 障害福祉サービス等職員住宅支援特別 手当事業補助金の精算額320,000円減
足立区受託金収益	〈17〉	49,505,491	67,632,312	18,126,821	ア 重層的支援体制整備事業 新規受託により20,032,838円増 イ ボランティア施設管理事業 西綾瀬ボランティアセンター閉鎖に より2,636,895円減
東社協受託金収益	〈18〉	53,933,000	54,119,318	186,318	東京都社会福祉協議会からの委託業務 に対する委託金 ア 生活福祉資金特例貸付事業 人件費(派遣職員費分)の増額により 2,142,682円減 イ 地域福祉権利擁護事業 人件費の増額により2,359,000円増
受託金収益計	〈19〉	103,978,491	121,971,630	17,993,139	
事業収益					
自主事業収益	〈20〉	0	0	0	
受託事業収益					
事業収益	〈21〉	38,502,477	42,425,356	3,922,879	各事業における利用料・会費等による収入 ア 障がい者保護雇用清掃事業 建物日常清掃委託費の増により 1,690,276円増 イ 法人後見事業 後見報酬収入の増により1,297,000円増 ウ 高齢者あんしん生活支援事業 年会費・利用料の改定に伴う会員会費 収入増により815,200円増
介護保険事業収益	〈22〉	205,697,250	212,455,418	6,758,168	包括支援センター事業(基幹、関原、梅島・ 島根)及び要介護認定訪問調査事業に おける足立区からの事業収入 ア 要介護認定訪問調査事業 訪問調査件数増により4,969,800円増 イ 地域包括支援センター関原事業 配置職種の変更により1,548,000円増
障害福祉サービス等事業収益	〈23〉	32,848,895	32,702,691	△ 146,204	ア 同行援護事業 利用件数減により介護給付費収入 1,292,152円減 イ 手話通訳者派遣事業

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

					デフリンピック関連イベントの増加に伴う手話通訳者派遣件数増により 1,107,803円増
事業収益計	〈24〉	277,048,622	287,583,465	10,534,843	
雑収益計					
雑収益	〈25〉	1,801,892	1,276,466	△ 525,426	ア 事務局運営事業 職員の退職により東社協共済会掛金収益168,900円減 イ 法人運営 自動販売機販売手数料減により 手数料収入131,633円減 ウ 障がい者保護雇用清掃事業 事故に伴う保険金収入及び共催事業給付金減により124,125円減
雑収益計	〈26〉	1,801,892	1,276,466	△ 525,426	
サービス活動収益計	〈27〉	1,093,546,831	1,168,349,746	74,802,915	
受取利息配当金収益					
受取利息配当金収益	〈28〉	1,912,600	2,698,564	785,964	金利上昇により利息収入増
その他のサービス活動外収益					
受入研修費収益	〈29〉	247,000	198,800	△ 48,200	実習生受入件数減少により実習生指導料減
サービス活動外収益計	〈30〉	2,159,600	2,897,364	737,764	
経常収益 (26+27)	〈31〉	1,095,706,431	1,171,247,110	75,540,679	

(2) 経常費用

単位：円

科 目		令和6年度 決算額(A)	令和7年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
人件費					
職員給与	〈32〉	375,793,071	404,626,799	28,833,728	給与改定による増
職員賞与	〈33〉	95,288,051	101,605,780	6,317,729	給与改定による増
賞与引当金繰入	〈34〉	58,992,088	62,771,980	3,779,892	給与改定による増
非常勤職員給与	〈35〉	214,043,563	231,780,165	17,736,602	給与改定による増
派遣職員費	〈36〉	42,077,566	40,197,986	△ 1,879,580	育児休業取得職員数減に伴う代替派遣 職員数の減
退職給付費用	〈37〉	32,093,492	41,296,792	9,203,300	定年退職者への退職給付増
法定福利費	〈38〉	121,214,750	126,923,196	5,708,446	給与改定に伴う社会保険料等
事業費					
諸謝金	〈39〉	20,674,160	22,810,767	2,136,607	ア ファミリー・サポート・センター事業 活動時間の増により837,720円増 イ 手話通訳者派遣事業 デフリンピックに関するイベント などにより手話通訳活動謝礼 1,050,200円増
旅費交通費	〈40〉	1,650,147	1,575,001	△ 75,146	
消耗器具備品費	〈41〉	16,314,978	16,041,895	△ 273,083	
印刷製本費	〈42〉	588,870	354,860	△ 234,010	創立70周年に係る各種印刷製本費の減 により232,470円減
修繕費	〈43〉	0	990	990	
通信運搬費	〈44〉	408,295	293,549	△ 114,746	会員宛送付物の減により121,878円減
会議費	〈45〉	63,228	85,809	22,581	
広報費	〈46〉	9,970,147	9,352,705	△ 617,442	
業務委託費	〈47〉	15,195,049	17,652,617	2,457,568	要介護認定訪問調査事業 認定調査件数増により3,252,500円増
手数料	〈48〉	1,573,710	1,591,320	17,610	
保険料	〈49〉	2,490,800	2,095,111	△ 395,689	ふれあいサロン支援事業 制度改正によるふれあいサロン保険料の減に ともなう385,450円減
賃借料	〈50〉	497,120	333,846	△ 163,274	成年後見制度支援事業 パソコンリース料の予算科目の見直しにより 180,480円減
租税公課	〈51〉	200	0	△ 200	
援護費	〈52〉	1,275,180	1,439,393	164,213	
保守料	〈53〉	0	35,200	35,200	
雑費	〈54〉	193,700	218,176	24,476	

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

事務費					
福利厚生費	〈55〉	5,464,480	5,555,507	91,027	
職員被服費	〈56〉	8,000	9,395	1,395	
旅費交通費	〈57〉	2,392,724	2,576,238	183,514	
研修研究費	〈58〉	1,364,330	831,050	△ 533,280	ア 介護支援専門員に係る各種研修の減により273,700円減 イ 民生・児童委員協議会に係る各種視察研修の減のより271,000円減
事務消耗品費	〈59〉	6,237,258	8,457,769	2,220,511	ア 地域包括支援センター関原事業 事務所移転にともなう各種事務用品等の購入により495,781円増 イ ボランティア施設管理事業 老朽化による会議質用机、椅子等の購入にともない947,980円増
印刷製本費	〈60〉	766,441	717,363	△ 49,078	
水道光熱費	〈61〉	8,840,609	8,100,630	△ 739,979	西綾瀬ボランティアセンターの閉鎖により578,178円減
燃料費	〈62〉	78,925	95,813	16,888	
修繕費	〈63〉	1,395,365	967,248	△ 428,117	高齢者あんしん生活支援事業 業務システムの改修が発生しなかったことにより385,000円減
通信運搬費	〈64〉	11,133,137	12,868,249	1,735,112	切手代、レターパック代の価格改定及び相談件数等増による利用料の増
会議費	〈65〉	50,408	9,953	△ 40,455	歳末たすけあい打ち合わせ手土産代の減により37,500円減
広報費	〈66〉	2,231,174	2,400,910	169,736	
業務委託費	〈67〉	16,071,772	29,350,204	13,278,432	ア 法人後見事業 事務所移転による物品移設及び各種工事費用の増にともない1,512,280円増 イ 地域包括支援センター関原事業 事務所移転による改修工事費用の増にともない12,427,250円増
手数料	〈68〉	5,703,153	5,140,907	△ 562,246	生活福祉資金特例貸付事業 西伊興倉庫解約による各種解約金及び手数料451,660円減
保険料	〈69〉	1,318,640	1,545,245	226,605	雇用トラブル対応保険の加入による保険料199,730円増
賃借料	〈70〉	23,257,691	25,678,726	2,421,035	ア PCリース料の価格改定により1,217,270円増 イ 複合機の入れ替え及び価格改定により320,782円増 ウ 地域包括支援センター関原事業

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

					事務所移転による賃借料374,000円増
租税公課	<71>	8,167,510	9,733,520	1,566,010	課税収入増による消費税増
保守料	<72>	6,791,609	6,916,775	125,166	
渉外費	<73>	252,000	322,000	70,000	民生・児童委員及び町会等との連絡会、 懇親会等の参加回数の増により70,000円増
諸会費	<74>	618,880	594,480	△ 24,400	
雑費	<75>	464,405	564,100	99,695	ア 令和6年度分居住支援特別手当補助金 の返還218,000円増 イ 福利厚生センター共済事業給付金 109,000円減
分担金費用					
分担金費用	<76>	1,250,000	1,217,273	△ 32,727	
助成金費用					
助成金費用	<77>	6,160,993	5,677,232	△ 483,761	ア 障がい者福祉団体助成金費用 こころの健康フェスティバル助成金 280,000円減 イ ボランティア連合会運営助成金費用 足立区ボランティア連合会助成金 209,025円減
負担金費用					
負担金費用	<78>	41,000	21,000	△ 20,000	福祉救援活動資金援助制度への拠金 20,000円減
減価償却費	<79>	3,686,818	3,749,848	63,030	
国庫補助金等特別積立金取崩額	<80>	△ 229,130	△ 229,130	0	
事業費 (公益目的事業会計) 経常費用計	<36>	1,123,916,357	1,215,956,242	92,039,885	